

# オカピ通信

第1号  
(2023年6月  
活動まとめ)

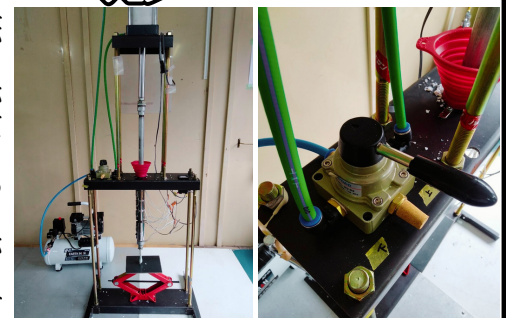
## 空気のカで楽々成形

### エアシリンダーを使った 射出成型機を製作しました

空気のカで金型に溶けたプラスチックを押し込む機械を製作しました。今までレバーにぶら下がって行っていた射出成形が、ハンドルの操作で行えるようになりました。

▽既存の卓上サイズの射出成形機の写真等をもとに設計を行いました。ピストンを出し入れする「エアシリンダー」や圧縮空気を作り出す「エアコンプレッサー」、圧力をかけても曲がらないような部材などを、慎重に選定しました。

▽今までの「人力」射出成形ではプラスチックを押し出す圧力が安定せず、製品の出来上がりはばらつきがちでした。この空気圧式射出成形機は圧力を指定できるので、品質が安定するのはと期待しています。作れる製品の重さもアップしました。



左=機械の全容。高さ2mほど。右=ハンドルを操作してプラスチックを射出する。

## 南日本新聞に掲載されました



6月5日付の南日本新聞「近影・遠景」欄で活動を紹介していただきました。作業の様子を映した写真数枚と共に、私の経歴や活動の意図などが分かりやすく書かれています。

▽「活動について聞かせてほしい」「どこで製品が買えますか」など、記事を読んだ方からのご連絡も続々といただきました。励ましの言葉も多かったです。

▽今後も、製品の製作・販売、地域での講座やワークショップ、新たな手法や製品の開発など、バランスを取りながら一層活動に励みたいと思います。

## 吹上生活学校で講話

### キーホルダーづくり体験も

6月17日、生活学校の企画にお招きいただき、吹上中央公民館で「プラスチックと私たちの暮らし」をテーマに1時間ほどお話をしました。内容は、多くの種類のプラスチックが使い分けられていること、資源ごみとして回収された後のプラスチックごみのゆくえなど。参加者の中には、プラごみの出し方のきまりに改めて納得した方もいらっしゃいました。

▽お話の後には、ペットボトルの蓋からキーホルダーをつくる体験も行いました。出来立ての温かいキーホルダーに皆さん興味津々。楽しく学んでいただけでした。

## 綺麗な板をどう作る？

ずっとオカピが試行錯誤を繰り返しているもの：それは、綺麗な板づくりです。ペットボトルのフタを砕いて枠の中に敷き詰め、上下から熱と圧力を加えて板を作るのですが、ささくれ立ってしまったり波打ってしまったたりでなかなか満足いく仕上がりになりません。◇先日「〇〇温泉」のフタのみを集めて板を作ったところ、ツルツルの板ができました。秘訣は均質な材料にあるようです。◇大量のペットボトルのフタをブラインドごとに分けるのは大変。2種のプラスチックが使われているフタもあります。材料を全て練り混ぜてから成形する方法も検討中です。

## オカピの目

「オカピ新聞」、いかがでしたか。オカピの日々の活動はインスタグラム (okapi.plastic) でもチラッと見せています。インスタグラムを使っている方にも最新情報をお伝えするために新しい媒体を作ってみました。文字を多めにして、インスタグラムではお伝えしきれないあれこれも書いています。月1回を目標に発行します。

▽これから夏休み。子供向けのワークショップなどを行う予定です。暑さに負けず、楽しみます。

製作：岡田香織 (オカピ)  
(サキガケ日置市 (移) 民)  
意見等はokadakaori.p@gmail.com #p.